



# 生成AIの利用と 医療の未来

## 言語・画像の自動生成の留意点

中央大学総合政策学部教授 宮下 紘 先生



近年、対話型のテキスト生成 AI サービス「ChatGPT」の医療現場での活用に期待が寄せられています。①診断書等の文書作成の効率化や、②クリニック・病院のホームページ制作サポート、③論文の要約や英文翻訳、文献検索の効率化等が取り沙汰されています。また ChatGPT の上手な活用による医療従事者の業務負担の軽減、業務効率化も注目されています。しかし、プラスの側面の一方で、リスクへの注意喚起もなされております。①個人情報の安易な入力による情報漏洩の恐れや、② ChatGPT で出力された情報の真偽を未確認のまま発信し信頼を失う危険性、③出力された情報の著作権侵害のリスク等が挙げられています。ChatGPT は便利なツールですが、利用促進サイドからの発信が多いのが現下の状況です。

### <宮下紘先生のご紹介>

中央大学総合政策学部教授。内閣府個人情報保護推進室政策企画専門職、駿河台大学法学部専任講師（後、准教授）などを経て現職。著書に『個人情報保護の施策』『ビッグデータの支配とプライバシーの危機』『プライバシーという権利』など。

2024年 **5月26日** (日) 午後3時～4時30分

参加  
無料

要事前申込

岡山市中区浜 2-3-12  
TEL 086-272-1201

岡山プラザホテル

- ★ ご参加は、会員、ご家族、会員医療機関のスタッフに限らせていただきます。
- ★ お問い合わせ・お申し込みは、岡山県保険医協会事務局までお願いいたします。

- ①会場参加、Zoomでの視聴のいずれかをお選びください。
- ②下記 URL 又は二次元コードからお申込みください

締切：5/23 (木)

<https://bit.ly/3y3TXky>

※会場参加をご希望の方は、TEL、FAX、メールでも受け付けます。  
「医療機関名、ご氏名、連絡先 TEL」をお伝えください

